

各 位

上場会社名	株式会社 鳥羽洋行
代表者	取締役社長 三浦 直行
(コード番号)	7472)
問合せ先責任者	取締役管理本部長 松永 健一
(TEL)	03-3944-4031)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,800	100	130	80	15.69
今回発表予想(B)	8,600	350	400	220	43.14
増減額(B-A)	1,800	250	270	140	
増減率(%)	26.5	250.0	207.7	175.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	4,881	△141	△101	△137	△26.89

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,500	200	250	150	29.41
今回発表予想(B)	16,500	640	720	400	78.43
増減額(B-A)	3,000	440	470	250	
増減率(%)	22.2	220.0	188.0	166.7	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	11,438	△28	43	△36	△7.14

修正の理由

年初に始まったギリシャ財政問題は、世界の通貨不安並びに株式市場の下落を誘発しておりますが、中国を中心とする新興諸国が全体を牽引し世界経済全体としては一時の最悪期を脱し、概ね回復過程に入っているものと想定されます。また、日本経済におきましても経済対策等が効果を表し、個人消費が底入れすることによって、企業の設備投資も半導体中心に復活する兆しが見えてきております。

このような状況は、当社に対しても良い影響を及ぼし、前事業年度半ばから一部の半導体の取引先における設備投資需要が回復するとともに、当事業年度に入ってからデジタル機器、半導体製造装置、精密機器等の取引先においても、自動化のための設備投資を中心に需要が復活する動きとなっております。

以上のような経済動向並びに当事業年度に入ってから当社の業績推移を勘案し、平成22年5月11日付の当社「平成22年3月期決算短信(非連結)」で公表いたしました、平成23年3月期の業績予想を修正いたします。

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上